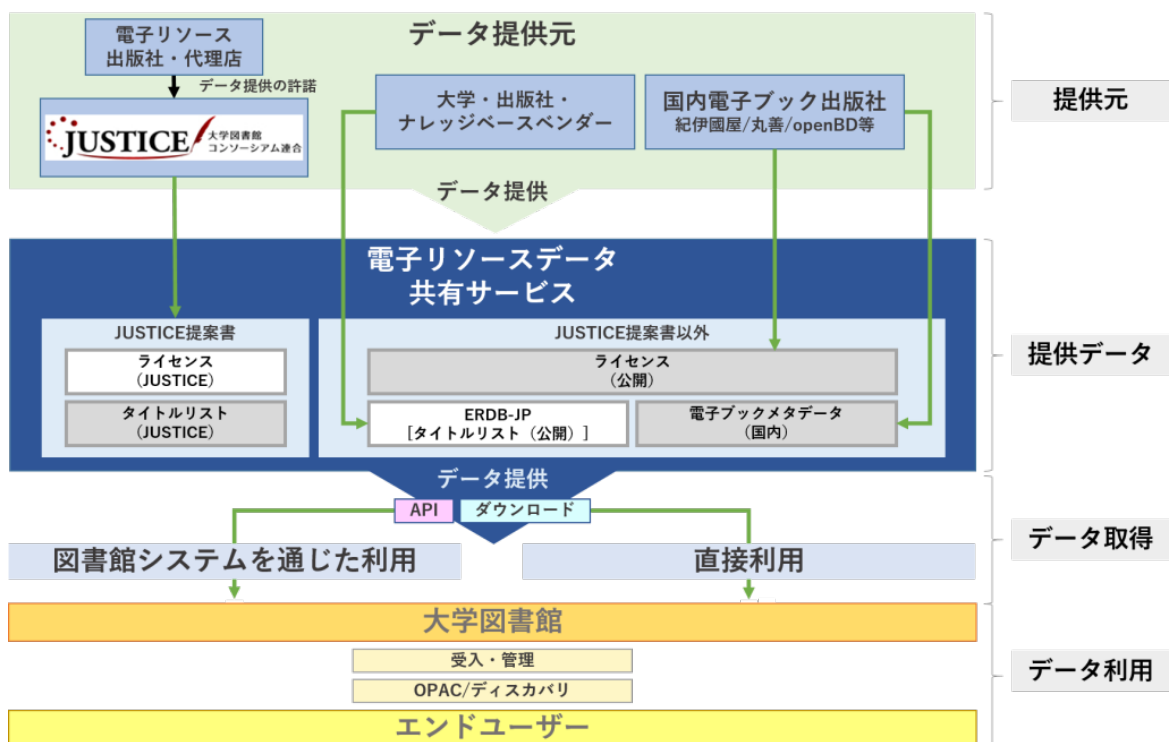


資料 No. 3

2023年10月4日
システムワークフロー検討作業部会

電子ブックメタデータ（国内）のプロトタイプ版の開発状況について（報告）

「電子リソースデータ共有サービス」の一角を成す、「電子ブックメタデータ（国内）」につきまして、プロトタイプ版の開発が最終段階となっており、本部会の担当班からのフィードバックなどを精査し、公開作業を進めたく思っております。



1. プロトタイプ版の概要

「電子ブックメタデータ（国内）」との位置づけを踏まえ、国内で学術機関向けに電子ブックの提供を行っている出版社・プラットフォームベンダーから、電子ブックのメタデータ（書誌レコード）を収集し、統合的に「発見」できるようにした、ディスカバリーサービス

2. 電子ブックメタデータを提供する出版社（プラットフォーム）
 - ・紀伊國屋書店（KinoDen）
 - ・ネットアドバンス（JapanKnowledge/JKBooks）
 - ・丸善雄松堂書店（Maruzen eBook Library）
 - ・メテオ（メディカルオンライン）その他、openBD から取得したメタデータによる書誌レコードの充実化を実施

3. プロトタイプ版での運用
 - ・ユーザーグループの活用も含め、フィードバックを広く収集し、それを踏まえての正式版公開を目的とする
 - ・データ更新について、出版社との調整が必要な場合があり、正式版の公開までは、定期的なデータ更新を一律に行うことは予定していない

4. CiNii Books との連携
 - ・「紙」と「電子」の統合的発見環境の実現、並びに学術機関における電子ブックメタデータ利用時のカスタマイズ要求（アクセス先 URL への機関 ID 埋め込み等）に対応するため、「電子ブックメタデータ（国内）」に収録された書誌レコードを CiNii Books へと流通させる機能を開発中

5. プロトタイプ版の公開
 - ・2023年10月下旬を予定
 - ・半年ほど、プロトタイプ版として運用を続け、その後正式版へ移行する予定

6. 今後、検討すべき機能強化
 - ・電子ブックメタデータ（国外）への対応
 - ・電子ブックの所蔵（学術機関）を収集し、表示できる仕組みの実装
 - ・図書館システムとの活用を前提とした電子ブックメタデータの流通機能の実装
 - ・マイクロコンテンツへの対応
 - ・電子ジャーナルへの対応

以上